

■コメント

1. インフルエンザ

定点当り6.11人とやや減少していますが、例年同時期と比べてかなり多い状態が続いており、引き続き注意が必要です。

2. 水痘

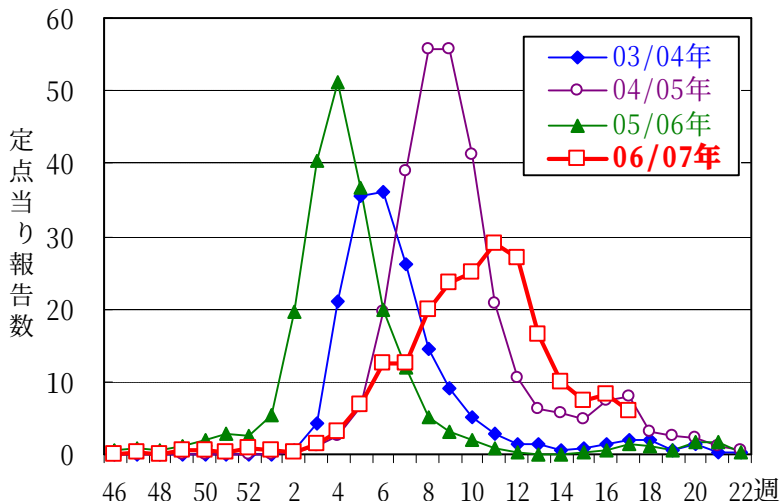
定点当り1.88人と増加しています。

3. 麻疹

2人 (定点当り0.08人) 報告されています。広島市では、2001年に比較的大きな流行がありましたが、2002年以降は目立った流行はみられていません。

しかし、麻疹の感染力は非常に強く、麻疹の免疫を持たない集団で麻疹が発生すると、急速に感染が拡大するため注意が必要です。

インフルエンザ



■5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)間	発生記号
インフルエンザ(注2)	226	6.11	2.39	↗	麻疹(注3)	2	0.08	0.04	
咽頭結膜熱	13	0.54	0.14		流行性耳下腺炎	2	0.08	1.08	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	1.50	1.28	↗	RSウイルス感染症	-	-	-	
感染性胃腸炎	179	7.46	8.27	↗	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	45	1.88	1.84	↗	流行性角結膜炎	2	0.25	0.95	
手足口病	3	0.13	0.58		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	4	0.17	0.20		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
突発性発しん	12	0.50	0.75		マイコプラズマ肺炎	6	1.00	0.28	
百日咳	-	-	-		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風しん	-	-	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.10						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	6

注1) 過去5年間 (RSウイルス感染症は3年間の同時期平均 定点当り)
 注2) 鳥インフルエンザを除く
 注3) 成人麻疹を除く
 注4) オウム病を除く

■1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	3	16	男性 (60歳代)、女性 (80歳代)、女性 (20歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	女性 (30歳代)

■ 5類感染症報告状況の推移 定点把握対象分)

		インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱 球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ 菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん
報告数	広島市	第13週	607	18	32	169	44	1	5	13	-	-	-	4	1	-	4	-	-	6	-	-
		第14週	365	15	34	194	34	4	3	10	1	-	6	8	-	-	10	-	-	-	-	-
		第15週	270	7	24	162	55	3	5	17	-	-	3	-	1	-	6	-	-	3	-	-
		第16週	300	9	41	169	28	2	6	14	-	-	5	5	-	-	9	-	-	7	-	1
		第17週	226	13	36	179	45	3	4	12	-	-	2	2	-	-	2	-	-	6	-	-
定点当り	広島市	第13週	16.41	0.75	1.33	7.04	1.83	0.04	0.21	0.54	-	-	-	0.17	0.04	-	0.50	-	-	0.86	-	-
		第14週	9.86	0.63	1.42	8.08	1.42	0.17	0.13	0.42	0.04	-	0.25	0.33	-	-	1.25	-	-	-	-	-
		第15週	7.30	0.29	1.00	6.75	2.29	0.13	0.21	0.71	-	-	0.13	-	0.04	-	0.75	-	-	0.43	-	-
		第16週	8.11	0.38	1.71	7.04	1.17	0.08	0.25	0.58	-	-	0.21	0.21	-	-	1.13	-	-	1.00	-	0.14
		第17週	6.11	0.54	1.50	7.46	1.88	0.13	0.17	0.50	-	-	0.08	0.08	-	-	0.25	-	-	1.00	-	-
	全国	第15週	7.10	0.25	1.60	6.75	1.94	0.18	0.88	0.65	0.01	-	0.05	0.01	0.44	0.03	0.79	0.02	0.02	0.33	0.02	0.03
		第16週	6.22	0.28	2.10	7.34	1.66	0.18	0.80	0.68	0.01	-	0.06	0.02	0.43	0.02	0.74	0.01	-	0.48	-	0.09

注1)鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

■新たに判明した病原体検査結果

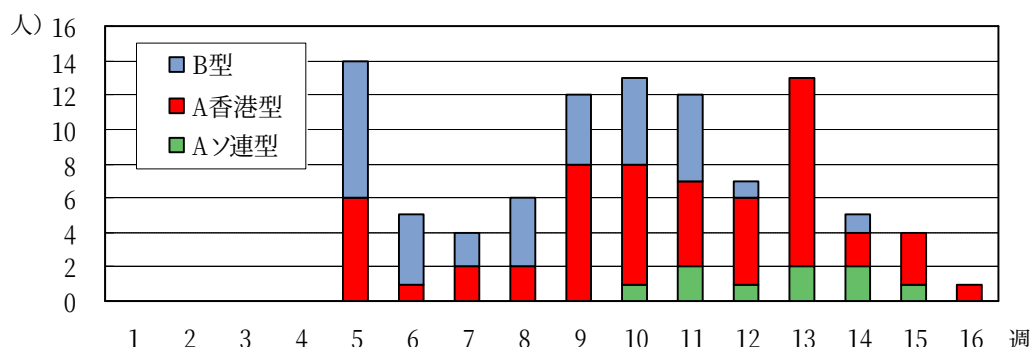
診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	2	女	2007/04/08	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	27	男	2007/03/14	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	6	男	2007/03/29	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	1	女	2007/03/30	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	不明	女	2007/04/10	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
インフルエンザ	25	男	2007/04/11	咽頭拭い液	インフルエンザA(H1)型
インフルエンザ	0	男	2007/04/16	咽頭拭い液	インフルエンザA(H3)型
咽頭結膜熱	1	女	2007/03/20	咽頭拭い液	アデノウイルス1型
咽頭結膜熱	7	男	2007/04/01	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
感染性胃腸炎 気管支炎	6	女	2007/03/10	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
気管支炎(hMPV疑い)	1	女	2007/04/06	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

●インフルエンザウイルス検出速報

4月判明分 検体採取日 2007年3月14日～4月16日)

	散発 病原体定点より搬入)				集団かぜ				合 計			
	Aソ連	A香港	B	散発計	Aソ連	A香港	B	集団計	Aソ連	A香港	B	合計
4月判明分	6	24	6	36	0	0	0	0	6	24	6	36
今シーズン計	10	53	31	94	0	0	5	5	10	53	36	99

【参考】広島市におけるインフルエンザウイルス検出状況 (2007年)



今シーズンは、Aソ連型、A香港型、B型が混在しています。

2月はB型の割合が多かったですが、3月以降、A香港型とAソ連型の割合が増加し、B型の割合が減少する傾向にあります。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2007年第17週 (4月23日～4月29日)